



学友参加推進週間

2018年10月1～7日

学友とロータリーとのつながりを深めることを目的とした「学友参加推進週間（RECONNECT WEEK）」は、元ロータリー平和フェロー、元ロータリー奨学生、ロータリー青少年プログラムの元交換学生、その他のプログラム学友の参加を促すことができる素晴らしい機会です。

ロータリーとのつながりが薄れてしまった元奨学生や元プログラム参加者も、クラブの例会やボランティア活動への参加、オンラインでの交流を通じて、地域社会に貢献し、ロータリーの世界的ネットワークの仲間となることができます。

クラブにとっても、「学友参加推進週間」は、学友という優れた人材とつながり、入会候補者を開拓できるというメリットがあります。またこれを機に、会員と学友が協力して、ロータリーの奉仕の理想を推進する新しい方法を見出すことができるでしょう。

2015年10月に始まったロータリー学友参加推進週間は、学友とクラブにとって大きな実りをもたらすことが実証されています。昨年は、25カ国以上から参加したロータリー学友が、地元のロータリークラブとつながりを取り戻しました。また、クラブや地区はソーシャルメディアを活用し、何千人もの学友やロータリアンの参加を促しただけでなく、学友のストーリーや写真をシェアしてもらうこともできました。

学友参加推進週間は、公式な年次行事となりました。国際ロータリー理事会は、10月7日を含む1週間（月曜～日曜）を学友参加推進週間と指定しました。

お早めにご準備ください

早めに計画を立て、イベントや活動を成功させましょう。

- イベントの企画運営に役立つリソースをクラブ会長に紹介しましょう。「学友参加推進週間」への参加を地区内クラブに呼びかける際には、[現・次期役員のリポート](#)をご利用いただけます。
- クラブリーダーに「[ロータリーイベント計画ガイド](#)」を紹介しましょう。クリエイティブなイベントと実施するためのアイデアが見つかります。
- My ROTARY の[フォーラム](#)で「学友参加推進週間」に関する情報やアイデアの交換しましょう。
- 以下は、このイベントへの参加をクラブ会長に呼びかける Eメールの見本です。

クラブ会長 各位

今年10月1～7日の「学友参加推進週間」は、元ロータリー奨学生、元ロータリー平和フェロー、青少年プログラムの元参加者、その他のプログラムの学友が、再びロータリーとつながるための機会として始まりました。

奨学金留学から帰国した学友や、プログラムを終えた学友の中には、ロータリーとの連絡を絶やしていたり、ほとんどつながりがない人もいるでしょう。そのような学友には、クラブの例会やボランティア活動、オンラインでの交流に参加してもらいましょう。世界中の地域社会をより良くするために、ロータリーがいかに貢献しているかを実感してもらえましょう。

学友参加推進週間は、クラブにとって、学友という優れた人材とのつながりを再び取り戻し、入会候補者を開拓できるというメリットがあります。またこれを機に、学友がロータリーを支援する新しい方法を見つける手助けをすることができるでしょう。

この週間に、交流会を企画したり、学友を例会へ招待するなどして、学友との交流促進にご協力くださるよう、お願いいたします。以下は、学友への招待メッセージの見本です。

「この度は、xx月xx日に行われる『学友参加推進週間』のイベントにご招待したく、ご連絡しております。ぜひ当クラブへお越しいただき、ほかの元プログラム参加者や奨学生との交流をお楽しみください。また、本地区へ引っ越してきたばかりという方にとっては、私たちの活動内容や参加方法を知る絶好の機会となるかと思えます。このイベントにお越しただける場合は、[連絡担当者の氏名および（または）Eメールアドレスをここに挿入]までご連絡ください。お目にかかれることを楽しみにしております。」

イベントを盛り上げよう

- 地元に住む学友に例会やイベントへの招待状を出しましょう。[プログラム参加者と学友に関するレポート](#)をダウンロードしてご参照ください。また、クラブや地区のインターアクト、ローターアクト、RYLA、青少年交換、ロータリー財団委員長と連携して、学友のネットワークを活発にしましょう。
- 地区のソーシャルメディア、ウェブサイトのカレンダーにイベントの詳細を投稿しましょう。
- イベントの開催内容について国際ロータリーに[Eメール](#)でお知らせください。学友参加推進週間について8月、学友担当職員が学友に直接メッセージを送信する予定となっています。また、国際ロータリーの「ロータリーリーダー」や「リコネクト」ニュースレターにもお知らせを掲載していきます。

成功を収めたイベントを参考にしよう

多額な費用をかけたり、長時間をかけて計画を立てなくても、楽しいイベントを開催できます。クラブ会長にイベント実施を呼びかけましょう。以下は、昨年で開催され、成功を収めたイベントの例です。

- ある地区のイベントでは、学友委員長から青少年交換プログラムの参加者に奉仕功労賞が授与されました。
- 平和フェローが自身の職業についてロータリークラブ例会で卓話をしました。
- 元ローターアクターやロータリアンらがローターアクト同窓会ディナーを開催し、今後のイベントについて出席者の意見を募りました。
- ロータリー学友会が、ロータリー財団100周年を記念して、100本の木を植樹しました。
- ロータリー学友会が、「ポリオ撲滅：ポリオという病気について知ろう」というテーマで募金パーティーを開催しました。
- 学友委員長が地区在住の学友に例会招待状を出しました。この招待状は、各自の都合の良いクラブや時間を選択できるものにしました。
- 学友委員長が青少年交換委員長と協力し、帰国学生を同窓会に招待しました。その際、それらの学生に受入・派遣学生のメンターとなる機会を提供しました。

会長賞を目指すチャンス

学友参加推進週間には、会員増強や人道的奉仕、公共イメージと認知度の向上といった[会長賞](#)項目を達成するためのイベントをロータリークラブが実施できるチャンスでもあります。